## 平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

**整理番号** 10 - 47

1 事務事業の表示

: 該当

予切于未少认小											
事	事務事業名 学校給食センター施設整備事業										
		担当課名		教育振興課		课	担当係名		学校給食係		
評	価 者	管理職 -	職名	給食	センター	所長	<i>II</i> -	·#:#	職名	技師補	
		官连帆	氏名	髙橋健仏		-	ΪF	成者	氏名		柳生幸子
		昭和54年に開設以来、30年を経過し、施設の老朽箇所や長期使用による傷みの激しい調理機器等を順次整備・更新を行う。						全体計画 (平成 20 国·道支			
事	業の概要								事地方		
										業 子の 費 一般則	
										事業費	,
実 施 方 法 直 営				民間委託 その他 (				)			
第5期総合計画(前期)					登載事業 非登載事業			優先度	В		
	業の位置付け	政 策 目 標 3 のびやか・雄武~教育・文化の振興~									
		基本施	12	学校教育の充実							
事		単 位 施 策			小中学校の教育環境の充実						
		事務事業の種類			自治事務		法定受託事務				
		その他計画・根拠等									
事業費	実施年度	20年度(実績)	21:	21年度(実績		22年度(見込)		見込)	23年度(計画)		24年度(計画)
	国·道支出金	千円		千		千円				千円	千円
	地方債	千円			千円	千円			千円	千円	
	その他財源	千円		千円		千円		千円		千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	22,260 <mark>千円</mark>		1,806 千円		2,550 千円			•	000 千円	3,500 <mark>千円</mark>
	合 計	22,260 千円		1,8	806 千円	2,550 千円		千円	1,0	00 千円	3,500 千円

2 事務事業の目的·内容(Plan·Do)

【誰、何が(対象)】	学校給食センター	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理 論上の成果指標)						
【抱える課題や ニーズは】	施設·機械等老朽化が激しい	厨房等機器の更新						
		指標(指標計算式/解説)   目標値及び実績値						
		機器更新数 目標年度 平成21年度						
【どのような状態 になることを目指	衛生的で、故障のない機器等の配置	<mark>目 標 値</mark> 2 台						
したのか(意図)]		<mark>実績値</mark> 5台						
		達成度 250.0 %						
【その結果、どの	安定した給食供給の保持 衛生的で、安全かつスムーズな調理作 業の実現	施設内改修箇所 <mark>目標年度</mark> 平成21年度						
ような成果を実現		目標値 3件						
したいか】 成果 = 目的		<mark>実 績 値</mark> 3 件						
700米-日町		達 成 度 100 %						
内容(どのような手段で何を行ったか)								
調理用備品購 入(更新)	自動ガス炊飯器(609千円)、サイノ目切機(467千円)、牛乳保冷庫(473千円)、チェストフリーザー(74千円)、スノコ(21千円)							
給湯暖房設備 用小型蒸気ボイ ラー関係修繕	熱交換器蒸気電磁弁修繕(74千円)、旧蒸気ボイラー修繕(84千円)							

裏 3 <b>事務事業の評価</b> (Check)							
(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業 を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)							
	で夫川	世のない場合の文階	2、成分争纷争来Cの機能里後 I	P兄直Uによる別心り能性)			
必要	● □義務的なもの		給食を提供する施設として衛生的な調理環境を保持する必要があ				
必要/概ね必要/ 課題あり		全部 一部	<b>ె</b>				
(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)							
有効	設定し 状況 」 達	た目標値の達成成		より、調理時間の短縮が図られ			
有効 / 概ね有効 / 課題あり		ぼ達成 回る	た。				
(3)事務事業の効率	性(コス	トに見合った効果が	が得られたか、計画上のコストを	・下げる工夫をしたか)			
, , = 2 2 2		判断の理由					
効率的	事人	業費抑制 員削減	調理機器の更新は、給食数の推移を見て順次小型化・安価なものを購入し、コスト削減に努めた。				
効率的/概ね効率 的/課題あり		間短縮·作業軽減					
		<u>の他</u>	l				
(4)事務事業の公平							
/\ <del></del>		判断の理由					
公平		益者負担がある	安定的かつ安全な給食の供給に資するための施設整備は、町 小・中学校全児童生徒に学校給食を公平に提供することが可能				
		益者負担がない					
公平/概ね公平/		益が一部に偏る	なるものである。				
公平でない	そ	<u>の他</u>					
<ul> <li>4 総合評価【A ~ D】</li> <li>A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等</li> <li>B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等</li> <li>C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等</li> <li>D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等</li> </ul>							
自己評·			評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)			
	Α		A				
老朽化した機器類のスムーズに行われ、 題が発生しなくなり、 いくことが必要である	給食時 今後も	間の遅れなどの問	同左				
今後の展開方[							
(Action)	4	<b>-</b>		<del></del>			
継続	5 / 抗	充	継続/拡充				
施設・備品等耐用年り、計画的に更新する			同左				
*展開方向の区分 継続/現状網	詳又は	拡充又は縮小又は約	・ 統合又は内容の見直し・変更	終了 休止 廃止			
5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)							